

全体プログラム（暫定案、2019年4月22日）

※ 報告者の発表日時、演題などについては、「一般報告プログラム」をご確認下さい。

■ 1日目 6月22日（土） 受付 9:00～

※【 】内は発表番号

	A会場（ 教室）	B会場（ 教室）	C会場（ 教室）
	エネルギー①	環境経済・環境政策① ／自由論題①	環境教育・環境哲学①／土 壌・水質①／自由論題②
9:30	【A-1】	【B-1】	【C-1】
9:45	【A-2】	【B-2】	【C-2】
10:00	【A-3】	【B-3】	【C-3】
10:15	【A-4】	【B-4】	【C-4】
10:30	【A-5】	【B-5】	【C-5】
10:45	休憩（15分）		
	エネルギー②	環境経済・環境政策②	市民科学
11:00	【A-6】	【B-6】	【C-6】
11:15	【A-7】	【B-7】	【C-7】
11:30	【A-8】	【B-8】	【C-8】
11:45	【A-9】	【B-9】	【C-9】
12:00	休憩・昼食		
	休憩中に「旧年度」幹事会（ 教室）		
13:15			
13:15	総会（ 教室）		
14:15			
14:15	休憩（15分）		
14:30			
	シンポジウム（ 教室）		
17:30			
18:00			
	懇親会（第1食堂（れんが館））		
20:00			

■ 2日目 6月23日(日) 受付 8:45~

※【 】内は発表番号

	A会場 (教室)	B会場 (教室)	C会場 (教室)
	環境教育・環境哲学②	廃棄物・都市問題①／環境情報／生態系・生物多様性	廃棄物・都市問題②／大気汚染
9:00	【A-10】	【B-10】	【C-10】
9:15	【A-11】	【B-11】	【C-11】
9:30	【A-12】	【B-12】	【C-12】
9:45	【A-13】	【B-13】	【C-13】
10:00	【A-14】	【B-14】	【C-14】
10:15	【A-15】	【B-15】	【C-15】
10:30	休憩 (15分)		
	震災・災害／環境経済・環境政策③／自由論題③	地球環境②／土壌・水質②／自由論題④	環境教育・環境哲学③／自由論題⑤
10:45	【A-16】	【B-16】	【C-16】
11:00	【A-17】	【B-17】	【C-17】
11:15	【A-18】	【B-18】	【C-18】
11:30	【A-19】	【B-19】	【C-19】
11:45	【A-20】	【B-20】	【C-20】
12:00	【A-21】	【B-21】	【C-21】
12:15	ポスター発表【P-1, P-2, P-3, P-4, P-5】 ()		
	休憩・昼食		
13:15	休憩中に「新年度」幹事会 (教室)		
13:15	企画セッション【K-1】	企画セッション【K-2】 (若手 13:15-14:15)	企画セッション【K-4】
		(14:15-16:15)	
15:15		企画セッション【K-3】	
16:15			

1 日目

< A会場： 教室 >

【座長：】

- A-1 気温上昇 1.5℃未満カーボンバジェットを考慮した日本の CO₂ 排出削減経路
歌川 学・上園昌武・氏川恵次・近江貴治・塩飽敏史・外岡 豊
- A-2 気温上昇 1.5℃未満カーボンバジェットを考慮した地域 CO₂ 排出削減経路、工業県と中規模都市の
検討
歌川 学・上園昌武・氏川恵次・近江貴治・塩飽敏史・外岡 豊
- A-3 IPCC 1.5℃特別報告書に基づく地域カーボンバジェットの算出と考察
近江貴治・歌川 学・上園昌武・氏川恵次・塩飽敏史
- A-4 環境 NGO と自治体の低炭素町作りを目的としたパートナーシップ協定、その意義と課題
佐藤高晴
- A-5 高再エネ率に向けた電気自動車による自然変動電力調整の可能性と課題
佐藤高晴

【座長：】

- A-6 変動性電源大量導入による東日本の電力需給バランス、再エネ 2030 年 50%目標の検証
竹濱朝美・歌川 学
- A-7 FIT 下でのバイオマス発電の現状と課題～小規模木質発電を中心に～
和田 武・和田幸子
- A-8 インドにおける再生可能エネルギー利用の新段階
和田幸子・和田 武
- A-9 タイにおける持続可能な住まいと居場所の特質について
王陳ロウ

< B会場： 教室 >

【座長：】

- B-1 イタリアの農村ツーリズムにおける 2000 年以降の地域毎の推進状況と人口増減の分析
佐藤 輝
- B-2 地球環境政策における安全保障化の考察
横田匡紀
- B-3 人口密集域における里川像の提示 ～行政と連携した地域フォーラムの活用～
望月嘉人
- B-4 小規模自治体における持続可能な地域づくりの推進を目的としたローカル・シンクタンク設立に関
する研究——下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部の事例から
平岡俊一
- B-5 書籍分析により「環境」の諸相を示した試行的研究
東 広之

【座長：】

B-6 中国の環境法政策の執行と課題

北川秀樹

B-7 中国における重層的環境汚染問題と環境 NGO

知足章宏

B-8 公害被害救済から環境再生への展開と課題 — イタイイタイ病全面解決の事例を中心に

関 耕平

B-9 建設残土問題を考える—三重県紀北町・尾鷲市と滋賀県大津市の建設残土捨場より

畑 明郎

< C会場： 教室 >

【座長：】

C-1 水循環に関する体験授業の事例報告 ～沖縄県宮古島市の小学校での実践に関して～

鶴田怜志

C-2 沖縄県宮古島市の小学校におけるごみ分別啓発の試み ～効果検証を含めて～

染谷 侑

C-3 イラン・テヘランにおけるふん便汚染の DNA マーカーを用いた由来推定の試み

尾形恒輝

C-4 バングラデシュの里山・里海保全の阻害要因と今後の方向性について

佐藤秀樹

C-5 スリランカにおける小規模コーヒー農家の持続可能性 —流通面からの検討

小倉亜紗美

【座長：】

C-6 戸建て住宅敷地を対象とした雨水流出抑制評価ツールの作成と適用

横田樹広

C-7 スマホを用いた市民科学プロジェクト City Nature Challenge

戸金 大

C-8 市民科学による水辺の外来植物の空間的変化の評価

咸 泳植・榮 一誠・佐藤鉄馬・有賀康博・大里彩乃・小堀洋美・戸金 大

C-9 市民科学による過去 10 年間の世田谷区の河川の水質評価

咸 泳植・佐藤鉄馬・小堀洋美

2日目

< A会場： 教室 >

【座長：】

A-10 環境権は誰のものか ― 学生たちの Climate Strike

柿沼美穂

A-11 SDGs フォーラムの企画によるプロジェクト型 ESD の実践

飛田 満

A-12 農業高校における LCT 環境教育プログラムの開発および SDGs への適用可能性

津野佑規・長谷川英夫・水島智史

A-13 環境教育プログラムの評価における実務者と研究者との協働の可能性

桜井 良

A-14 アクティブラーニング手法を用いた環境・エネルギー教育の実践 ～近年の原発再稼働賛否の動向と教育課題の整理～

高野拓樹・乾明紀・加藤千恵

A-15 インドネシアの熱帯林における「エコツーリズム実習」の実施，および参加した大学生の反応

佐藤 輝

【座長：】

A-16 除染土壌等の処理の問題点と課題

礒野弥生

A-17 日本における気候変動対策の捉えられ方

木原浩貴・松原斎樹

A-18 貨物輸送における大幅な CO₂ 排出削減対策の見通しと政策・業界の動向

近江貴治

A-19 自立・分散型エネルギー社会の構築における市民協力行動の要因分析

畢亦凡

A-20 風力発電の自治体公営事業の経営分析

上園昌武

A-21 二国間クレジット制度（JCM）について

渡来 絢

< B会場： 教室 >

【座長：】

B-10 海ゴミ問題の調査研究のあり方

磯部 作

B-11 建設残土問題を考える

畑 明郎

B-12 食品循環資源から製造した堆肥は水稻栽培に利用できる

長屋祐一

- B-13 農業用水管理の省力化の取組から、ICTの技術選択にはコンサルテーションが重要だ。
長屋祐一・伊藤良栄
- B-14 機械学習を用いた三重県のブリ漁獲量予測モデル構築についての検討
山田二久次・小川翔大・久野正博・藤田弘一・武田保幸・御所豊穂・海野幸雄・万田敦昌
- B-15 農法の比較相対化と環境評価
森谷昭一

【座長：】

- B-16 フダンソウの耐塩反応におけるベタシアニンの関与
前田良之・大島宏行・加藤 拓・箭柏聖・澁谷陽平
- B-17 畑地における下水汚泥堆肥および乾燥汚泥の窒素無機化特性
町田尚大・守屋柊星・大島宏行・加藤 拓・前田良之
- B-18 福島県郡山市中心部住宅地における合流式下水道流水の重金属濃度
尾崎宏和・吉村和也・片寄優二・松本卓巳・朝岡良浩・林 誠二
- B-19 日本における2,4,5-T剤の製造・使用・廃棄について
八木 正
- B-20 鹿児島県における2,4,5-T剤埋設地の状況
八木 正
- B-21 「マツグリーン液剤2」の無人ヘリコプター散布による松枯れ防除効果についての検討
植村振作

< C会場： 教室 >

【座長：】

- C-10 パレスチナ・ガザ地区における医療廃棄物処理
吉田充夫
- C-11 市民生協でのNO₂測定と健康アンケートとの対比
久志本俊弘
- C-12 千葉県内の東京外環道路開通によるNO₂濃度変化
鈴木一義
- C-13 公害病認定死亡患者の認定期間及び死亡原因に関する調査
神戸治夫
- C-14 温暖化による熱中症は、公害被害ではないのか
神戸治夫
- C-15 大気汚染医療費助成認定患者の地域分布傾向とその経年変化について <複合化する光化学オキシダント公害についての考察 第三報>
木村健一郎・権上かおる

【座長：】

- C-16 テクノロジーの現況と量子論と近代科学の完成（1）
粟屋かよ子

C-17 テクノロジーの現況と量子論と近代科学の完成（2）

栗屋かよ子

C-18 戦争する国造りに反対するオール沖縄の闘いから見える日本発展の可能性

杉浦公昭

C-19 目視法 NOx 大気汚染簡易測定器による市民参加の大気汚染測定局の点検の提案

天谷和夫

C-20 放射線簡易測定器を活用した核兵器廃絶の早期実現のための提案

天谷和夫

C-21 世界連邦政府の役割を果たす国連大学を育てる SDGs の活動について

天谷和夫

<ポスター発表> コアタイム 12:30-13:00

P-1 熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析法を用いたマイクロプラスチックの分析

大早晃平

P-2 地域理解を進めるための学校周辺マップ作成の試み ～静岡市三保地区の小学校の事例に関して～

小佐野博史

P-3 会津メダカから見る遺伝的攪乱の研究

松木大知

P-4 ピコスコープを使用した水質測定法の開発

安藤拓人

P-5 国産超強力小麦「ゆめちから」の耐塩性に関する研究

小野寺孝久